

南開大学セメスター留学便り 11月 (教員版)

こちらでの留学生活も三ヶ月が過ぎました。11月に入り、大気汚染指数のかなり高い日があったかと思うと、対照的にきれいな青空の広がる日が続くこともありました。9月、10月に比べて、今月の方がきれいに晴れた日が多かった気がします。

月の半ばを過ぎると気温も下がり、寒さが感じられるようになりました。下旬には、大学内の湖や河に氷が張りました。

では、今月の様子をお知らせします。学生版の便りと併せてご覧下さい。

4日(月) 運動会

取材日誌参照 <http://pr.kokugakuin.ac.jp/class/2013/11/04/222245/>

7・8日(木・金) バドミントン大会

9日(土) 農村見学

本学の課外活動として、天津市郊外の農村に出かけました。グループに分かれて、農家にお邪魔して一緒に餃子を作り、食事をしながら交流します。交流の合間には地区トップの共産党書記も訪れ、学生たちは農村の様子等を質問しました。

11・12日(月・火) 中間試験(第二回)

二回目の試験は二日に涉って行われました。前回と比較して成績が上がった人もいれば下がった人もおり、個人差はありますが不合格者もおらず、総じて良好な成績でした。

25日(月) HSK補講終了

担当教員によると皆よく勉強しており、本番は緊張さえしなければよい結果が望めるだろう、とのことでした。

27日(水) 中国語大会

漢院の各クラスから代表者が出場しますが、単なるスピーチではなく詩の朗読や小劇等が披露されます。本学からは二組が出場しました。結果は、初級クラスでの一位と二位を占めるという快挙です。残念だったのは、授業時間中に開催されたために他の学生たちは応援に行けなかったことです。

三ヶ月目になり、「モチベーションが続かない」という声も聞きましたが、その一方で、「中国人と会話する機会が増えた」「中国人の友達ができた」と前進を続けている学生もいました。また、授業が終わった後も自習室で勉強する姿を、連日のように見かけました。

帰国が近づいてきます。最後まで気を抜かず充実した生活を送って欲しいと思います。

(引率 佐川記)